* 4 2 5 9 9 8 6 0 2 * (1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書・保証書

RDP-NWD300

品 名	アクティブスピーカーシステム
型 名	RDP-NWD300
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な特長

- 総合出力 10 Wのパワフルサウンド。
- ソニー独自の電流駆動システムを採用することにより、ピュアで臨場感あふれるサウンドを実現。
- PC MODE ボタン搭載。ワンタッチで音楽再生とパソコンからのデータ転送を切り換え。
- "ウォークマン"の充電、リモコン操作が可能。
- 他のオーディオ機器との接続も可能な LINE IN ジャック搭載。
- 部屋のインテリアにも馴染む、スタイリッシュなデザイン。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

付属の AC パワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100 ～ 240 V）につないでお使いください。

AC コードについて：

AC コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持ってコンセントから抜いてください。

留守にするときは：

本機の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンで電源をスタンバイにしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに AC パワーアダプターを抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
  - ― 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ― ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - ― 風呂場など、湿気の多い所。
  - ― ほこりの多い所、砂地の上。
  - ― 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 落下を防ぐため棚や机の端に置かないでください。
- 防滴加工はしていないので、キッチンや洗面所では使用しないでください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、イラストのように本体の上面と底面を持ってください。本体の側面を持たないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

* JEITA は「(社) 電子情報技術産業協会」の略称です。

高温の場所についてのご注意

直射日光が長時間当たる場所や、暖房器具の近くなど温度が非常に高い（60℃以上）ところや、湿気の多いところでのご使用、放置は避けて下さい。
特に窓をしめきった自動車内（季節により 60℃を超えることがあります）などに放置したまま直射日光をあてると窓ガラスのレンズ効果により一層加熱が促進されることがあり、キャビネットが変形したり故障の原因になりますので、充分にご注意ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- "ウォークマン"の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 定期的に点検する。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションに修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災　感電	禁止　ぬれ手禁止	指示　プラグをコンセントから抜く

⚠危険

下記の注意事項を守らないと
火災・感電・発熱・発火により
死亡や**大けが**の原因となります。

指定以外の AC パワーアダプターを使わない

必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。
禁止

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターを抜いて、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。
禁止

湿気や埃、油、煙、湿気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。
禁止

端子を金属でショートさせない

火災や感電の原因となります。
禁止

ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止

本体や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
禁止

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。
指示

下記の注意事項を守らないと
けがをしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。
禁止

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

指定以外の機器に使わない

火災やけがの原因となります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機のリモコンでは以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池
CR2025

⚠危険 ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 電池交換を正しく行わないと破裂する危険があります。
  指定の電池と同じまたは同等の電池と交換してください。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ · 炎天下の車中など、高温の場所で使用 · 保管 · 放置しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ
  （http://www.sony.co.jp/walkman-support/）

最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

- 電話・FAX でのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ
  （下記電話・FAX 番号）

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名：RDP-NWD300
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

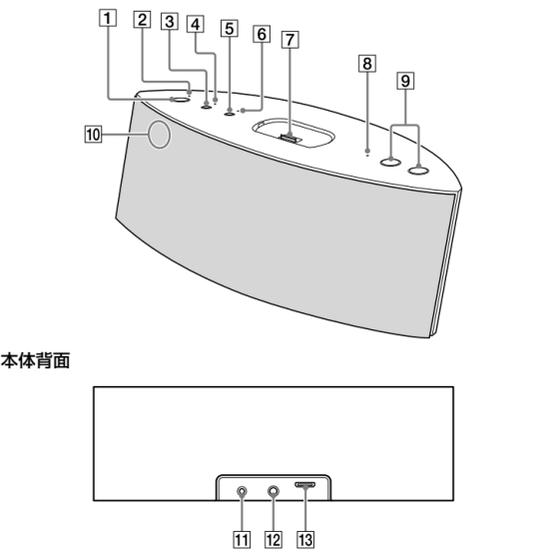
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

各部のなまえ

本体前面

本体背面

1 I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタン
2 I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプ
3 LINE INPUT ボタン
4 LINE INPUT ランプ
5 PC MODE ボタン
6 PC MODE ランプ *1
7 WM-PORT *2 プラグ（“ウォークマン”接続用）
8 ※（消音）ランプ
消音中に点灯します。また、音量が最大、または最小に達したときに点滅します。
9 VOLUME（音量）+/– ボタン *3
10 リモコン受光部
11 LINE IN ジャック
12 DC IN 13V ジャック
13 WM-PORT ジャック（パソコン接続用）

※ 機銘板は本体底面に表示してあります。

リモコン

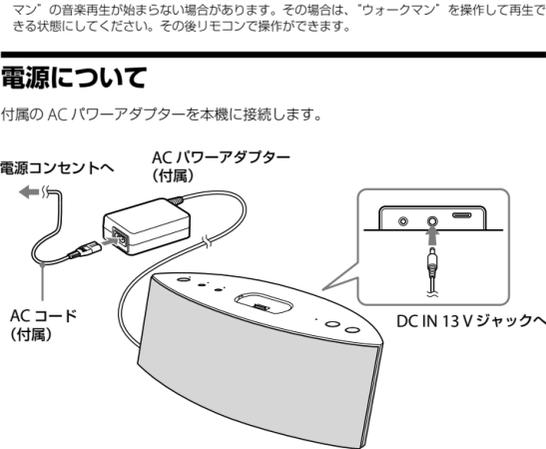
1 ⏮⏭（頭出し）ボタン
2 ▶II（再生 / 一時停止）ボタン *4
3 ◀◀▶▶（早送り / 巻き戻し）ボタン
4 ■（停止）ボタン
5 MUTING（消音）ボタン
本体の ※（消音）ランプが点灯します。
6 I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタン
7 VOLUME（音量）+/– ボタン *3

*1 PC MODE ランプ点灯中は、“ウォークマン”の操作はできません。
*2 WM-PORT は“ウォークマン”とアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。
*3 VOLUME + ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。
*4 ▶II ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

ご注意

- お使いの“ウォークマン”によっては、リモコンの動作の一部が表示と異なったり、操作できない場合があります。
- LINE IN ジャックに接続したオーディオ機器では、リモコンボタン 1 2 3 4 の機能は使用できません。
- 本機の WM-PORT プラグに“ウォークマン”を接続しているときは、本機の音量調節はできますが、“ウォークマン”の音量調節はできません。
- 機器の音量調節によっては、突然大きな音がでる場合があります。
- 本機に“ウォークマン”を接続した状態で、本機のリモコンの ▶II ボタンを押しても、“ウォークマン”の音楽再生が始まらない場合があります。その場合は、“ウォークマン”を操作して再生できる状態にしてください。その後リモコンで操作ができます。

電源について

付属の AC パワーアダプターを本機に接続します。

ご注意

- AC パワーアダプターを抜く前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ･JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属の AC コードは本機専用です。他の電気機器ではご使用になれません。

極性統一形プラグ

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

海外で使うときは

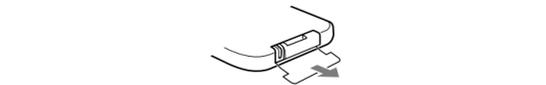
付属の AC パワーアダプターは、AC100 ～ 240 V、50/60 Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプター（別売り）

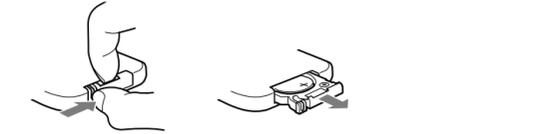
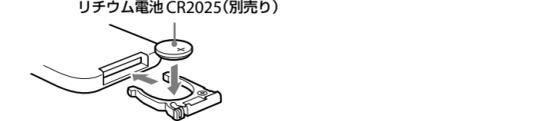
ご注意

- 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

リモコンを準備する

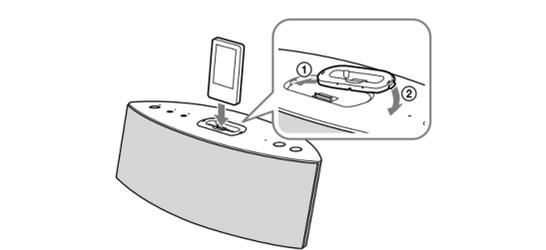
リモコンの準備をするときは、絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にしてください。
リモコンには電池がすでに入っています。

電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。
ふつうの使い方で約 6 か月もちます。

1 **電池ケースの溝に爪の先を入れて引き出す。**

2 **+と書かれた面を上にしてリチウム電池 CR2025 を新しい電池と取り換える。**

3 **電池ケースを元に戻す。**

ご注意

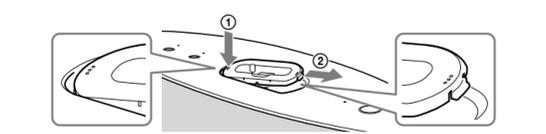
- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

“ウォークマン”を接続する

1 **“ウォークマン”のアタッチメントを装着する。**
アタッチメントは“ウォークマン”に付属しているものか、本機に付属している 2 種類のうちから対応しているものをご使用ください。お使いの“ウォークマン”によってアタッチメントの形状が異なる場合があります。詳しくは「本機に対応する“ウォークマン”」をご覧ください。

2 **アタッチメントのツメを WM-PORT プラグ左側の穴の位置の片方に合わせて先にはめ込んでから（①）、反対側を指で押し込みます（②）。**

3 **本体に“ウォークマン”を接続する。**

ヒント

- アタッチメントを取りはずすには、イラストのようにアタッチメントのマーク（○○○）の位置を上から強く押してから（①）取りはずします（②）。
強く押してもはずれない場合は、反対側のマーク（○○○）の位置を強く押してください。

本機の充電機能を利用するには

AC コードを接続した状態で、本機に“ウォークマン”を接続してください。自動的に充電を開始します。充電の状態は“ウォークマン”に表示されます。詳しくは、お使いの“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 再生と充電を同時に行うことができます。再生中の充電時間は長くなります。

ヒント

- 本機の電源がスタンバイ状態でも“ウォークマン”を充電できます。

“ウォークマン”の音声を再生する

1 **本体の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 **接続した“ウォークマン”の音声を再生する。**
本機との接続中に“ウォークマン”を操作するときは、“ウォークマン”をもう一方の手でしっかり支えてください。
LINE INPUT ランプが点灯しているときは、LINE INPUT ボタンを押して LINE INPUT ランプを消灯させてください。

3 **音量を調節する。**
本機の VOLUME +/– ボタンで調節します。

4 **使用後は I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押してスタンバイ状態にする。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが消灯します。

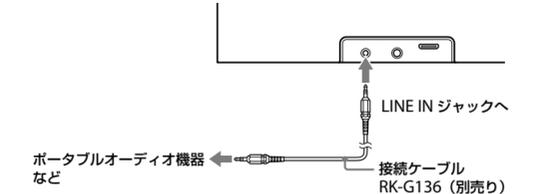
ご注意

- お使いの“ウォークマン”によっては、“ウォークマン”の起動時にスピーカーからノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- Bluetooth 内蔵“ウォークマン”は Bluetooth 設定をオフにしてください。
- ご使用の“ウォークマン”によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオンまたは調整されている場合がありますので、オフにしてください。
- ラジオまたはワンセグチューナーを内蔵した機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。
- “ウォークマン”接続中は、“ウォークマン”のヘッドホンからは音は出ません。
- 本機の音量を大きくしたままスタンバイ状態にすると、次回起動時も同じ音量で音声が再生されます。スタンバイ状態にする前に、音量を小さくしてください。

ヒント

- 接続中の“ウォークマン”の再生、停止等の操作は、本機のリモコンでも行えます。
“ウォークマン”を音楽が再生できる状態にしてから、リモコンで操作してください。
- 本機の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押してスタンバイ状態になっても、その時の音量設定を記憶しています。
ただし、AC コードをコンセントから抜いたり、AC パワーアダプターを本機から取りはずしたりした場合は、工場出荷時の音量に戻ります。

その他の機器と接続する

本機にポータブルオーディオ機器などを接続できます。接続ケーブル（別売り）を使って、LINE IN ジャックに接続してください。突然大きな音が出て耳を傷めないように、接続する機器の音量を下げてから本機に接続してください。

ご注意

- LINE IN ジャックに接続したオーディオ機器の音声は、“ウォークマン”に録音できません。

LINE IN ジャックに接続した機器の音声を再生する

1 **本体の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 **LINE INPUT ボタンを押して、LINE INPUT ランプを点灯させる。**

3 **接続した機器の音声を再生する。**

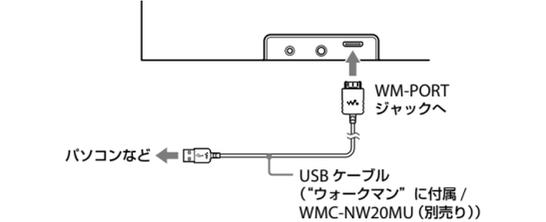
4 **音量を調節する。**
本機の VOLUME + / − ボタンおよび接続した機器で調節します。

5 **使用後は I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押してスタンバイ状態にする。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが消灯します。

ご注意

- ラジオまたはワンセグチューナーを内蔵した機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が低下する場合があります。

“ウォークマン”とパソコンの間でデータを転送する

本機とパソコンを USB ケーブル（“ウォークマン”に付属 / WMC-NW20MU（別売り））で接続しているときは、本機の WM-PORT プラグに取り付けた“ウォークマン”とパソコンの間でデータを転送できます。

1 **本体の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点灯します。

2 **本体の PC MODE ボタンを、PC MODE ランプが点灯するまで押す。**
PC MODE ランプが点灯します。

3 **“ウォークマン”とパソコンの間でデータを転送する。**
転送方法について詳しくは、お使いの“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
転送が終わって、音楽を再生したいときは、PC MODE ボタンを、PC MODE ランプが消灯するまで押してください。

4 **使用後は I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押してスタンバイ状態にする。**
I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが消灯します。

ご注意

- PC MODE ボタンを押す前に、“ウォークマン”のディスプレイに「データベース作成中」画面が表示されていないことを確認してください。
- パソコンからのデータ転送中は、本機の PC MODE ボタンを押したり、USB ケーブルや AC パワーアダプターの抜き差しをしないでください。パソコンが“ウォークマン”を認識できなくなったり、データ転送が中断される場合があります。
- パソコン側の操作で“ウォークマン”の取りはずしを行った場合、本機の PC MODE ランプは点灯したままとなります。PC MODE ボタンを押して消灯させてください。
- お使いの“ウォークマン”によっては、PC MODE ボタンを押してデータ転送から音声再生に切り換えるときにスピーカーからノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- パソコンからのデータ転送中に“ウォークマン”が本機からはずれた場合は、“ウォークマン”をもう一度本機に取り付け、転送をやり直してください。
- 以下の場合は、PC MODE ボタンを押しても PC MODE ランプは点灯しません。
（数回点滅後、消灯します。）
— WM-PORT ジャックに USB ケーブルが接続されていない。
— 本機に接続されているパソコンの電源がオフになっている。
- PC MODE ランプ点灯中は、本機の WM-PORT プラグに取り付けた“ウォークマン”の音声は再生されません。
- WM-PORT ジャックに USB ケーブルでパソコンを接続しても、本機でパソコンの音声の再生はできません。本機でパソコンの音声を再生するには、接続ケーブル（別売り）を使って、パソコンを本機の LINE IN ジャックに接続してください。
- WM-PORT ジャックに録音用ケーブルを接続しても録音できません。
- WM-PORT ジャックに映像 / 音声出力ケーブルを接続しても映像、音声は出力されません。

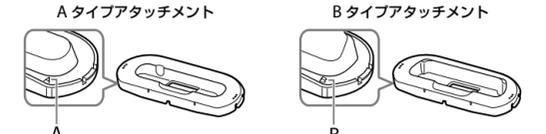
ヒント

- パソコンからのデータ転送中でも、LINE INPUT ボタンを押して LINE INPUT ランプが点灯させれば、LINE IN ジャックに接続した機器の音声を再生できます。
- データ転送中に本機の I/⏻（電源 / スタンバイ）ボタンを押してスタンバイ状態になっても、データ転送は継続されます。

本機に対応する“ウォークマン”

WM-PORT（22 ピン）搭載“ウォークマン”でご利用できます。
本機の対応機種について詳しくは、以下のホームページまたはカタログをご覧ください。
http://www.sony.jp/walkman/acc/

本機に付属のアタッチメントの対応機種については、下記の表をご覧ください。
下記以外の“ウォークマン”をお使いのお客さまは“ウォークマン”に付属しているアタッチメントをお使いください。

アタッチメント	シリーズ	モデル名	
A タイプアタッチメント	A シリーズ	NW-A820 シリーズ	NW-A829/A828
		NW-A800 シリーズ	NW-A808/A806/A805
	S シリーズ	NW-S730FK シリーズ	NW-S738FK/S736FK
		NW-S730F シリーズ	NW-S739F/S738F/S736F
		NW-S630FK シリーズ	NW-S638FK/S636FK
		NW-S630F シリーズ	NW-S639F/S638F/S636F
B タイプアタッチメント	A シリーズ	NW-A910 シリーズ	NW-A919/A918/A916
	S シリーズ	NW-S710F シリーズ	NW-S718F/S716F/S715F
		NW-S610F シリーズ	NW-S616F/S615F
	X シリーズ	NW-X1000 シリーズ	NW-X1060/X1050

ご注意

- 対応以外の“ウォークマン”を本機に接続しないでください。本機で対応していない“ウォークマン”を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 一部の地域では販売されていない“ウォークマン”もあります。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が小さい、または音が出ない	VOLUME +/– ボタンが最小に絞られている。	VOLUME +/– ボタンで調節する。
	接続ケーブルが抜けかかっている。	接続を確認する。
	“ウォークマン”が WM-PORT プラグにしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	“ウォークマン”から音楽が再生されていない。	“ウォークマン”を再生する。
	接続した外部機器の音量が小さすぎる	外部機器の音量を調節する。
	PC MODE ランプが点灯している。	PC MODE ボタンを押して、PC MODE ランプを消灯させる。
	リモコンの MUTING（消音）ボタンが押され、MUTING（消音）が ON になっている。（※（消音）ランプが点灯している）	リモコンの MUTING（消音）ボタンを押し、MUTING（消音）を OFF にする。
	上記で解決しない場合は、“ウォークマン”の RESET ボタンを押して、“ウォークマン”をリセットしてください。	
リモコンで本機、または“ウォークマン”を操作できない	本機から離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
	リモコン受光部の前に障害物が置いてある。	リモコン受光部の前から障害物を取り除く。
	“ウォークマン”がしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
	リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
	入力が LINE IN になっている。（LINE INPUT ランプが点灯している。）	LINE INPUT ボタンを押して、LINE INPUT ランプを消灯させる。
ブーンという音がでる、またはノイズが出る	テレビなど近くに音がでる機器を置いている。	• 音を発しているものから、本機を離す。 • 電源を別なコンセントの差込口につなぎ変える。
音がひずむ	音量が大きい。	本機の VOLUME －ボタンを押して、音量を下げる。
	接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能が有効になっている。	“ウォークマン”のイコライザ設定を、「オフ」またはフラットにする。
	LINE IN ジャックに接続されている機器の音量が大きい。	LINE IN ジャックに接続されている機器の音量を小さくする。
リモコンに電池が入らない（きつい）	電池を逆に挿入できない構造になっています。	極性（+/–）を確認して正しく入れてください。
ラジオが受信できない。	ラジオ付“ウォークマン”や LINE IN ジャックにラジオを接続した場合、ラジオ放送が受信できない、または感度が低下する場合があります。	

I/⏻（電源 / スタンバイ）ランプが点滅した場合や、大音量で再生して電源が自動的にオフになった場合は、保護回路が動作しています。
上記の場合は、AC パワーアダプターをコンセントから抜き、再度接続してください。それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

主な仕様

スピーカー部

型式	フルレンジバスレフ型 防磁型（JEITA*）
使用スピーカー	直径 50 mm
インピーダンス	4 Ω
最大入力	7 W

アンプ部

実用最大出力	5 W+5 W（1 kHz、4 Ω）
入力インピーダンス	LINE IN ジャック 45 k Ω（1 kHz）

電源部・その他

電源	DC 13 V 2 A （付属の AC パワーアダプターを接続して AC 100 - 240 V 電源から使用）
入出力端子	WM-PORT プラグ× 1 WM-PORT ジャック× 1 LINE IN ジャック（ステレオミニ）× 1 DC IN ジャック× 1
最大外形寸法	約 285 × 95 × 119 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約 830 g
動作温度	5℃ ～ 35℃

付属品

AC パワーアダプター（1）
AC コード（1）
リモコン（1）
リチウム電池 CR2025（1）
（リモコン装着済：お試し用）
“ウォークマン”用アタッチメント（2）
取扱説明書・保証書（1）

別売りアクセサリー

接続コード	RK-G136 （ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ）（1.5m） RK-G129 （ピンプラグ× 2 ↔ ステレオミニプラグ）（1.5m） RK-G22 （ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニプラグ）（1.5m）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA は「（社）電子情報技術産業協会」の略称です。